

△演説會

會場内外の状況

午前九時頃より司会者若原世若監西目若五十名は中央に演壇を設けしことや入場の場所その他諸設備へ奔走し十時頃には各組念口員が一團となり組念旗を先頭に押し進み演壇へ款着後、手紙歌を唱へて高唱して居る入場しとの致十五名名位、十一時演説の始まる迄には二十四名名の集り團が思ひ思いの高唱し、その他款、手紙歌、寒風、噪さいながら、さいやかしの山々勢を揚ぐ

△演説の敬言

三田若原を始り敬言款の敬言、官七名名、赤羽橋より會場へとどむる道路、両側へ一同、是れ位つゝ、官制服を脱ぎし

四、嚴重の敬言、戒し、殊とて會場入るを去る二十回、北内は敬言、官の拒否を爲し、主義者連中と見れば、唯、彼れの内、像なく、推何し、今、場附近に十二三名を、獲束し、組念旗の先路の、獲る布、標の、し、う、い、金、部、を、ま、せ、る、孝、始、め、か、さ、異、状、の、緊、急、を、振、う、を、見、す、實、為、ま、つ、は、三、人、乘、馬、し、て、又、敬、言、戒、の、位、に、つ、く

開始 午前十一時

開会の辞 故本中の兵衛

演説者氏名

1 監正 見雲油 (送標航工若組念) 2 村田善之助 (廿二浦若組念)
3 金田の志 (同) 4 村止、が、か、口、幸、一 (印刷工組念) 5 金正 左王
(十部 輝若組念) 7 徳永の報 (同 東同 盟念) 8 北林太夫